

事務事業名 清嵐荘運営事業		所属部 産業観光部	所属課 産業施設課
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G 産業施設グループ	課長名 安部昭彦
	施策名 (38)観光の振興	担当者名 菅野豊久	電話番号 0854-40-1093 (内線) 2422
	目的:対象 市外の人・市民 意図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 3 清嵐荘運営事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 0 1 清嵐荘運営事業	
	基本事業名 (117)受け入れ施設の充実 目的:対象 観光客 意図 受け入れ施設を整える。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) 施設概要 敷地面積:5,388.86㎡ 延床面積:1,479.81㎡ 宿泊施設(23室) 入浴施設 大広間 食堂施設 指定管理者 株式会社吉田ふるさと村 指定管理期間 平成29年4月1日~平成30年1月31日 (10か月間)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動 29年度実績(29年度に行った主な活動) ①指定管理者との年度協定の締結 ②指定管理料の支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリングの実施 ⑤借地料、泉源給湯料支払業務 ⑥施設改築整備に伴う業務(備品廃棄・保存にかかる確認・整理、各種設備休廃止、変更にかかる手続き、泉源調査、休業周知など) ⑦各種協議等への参加 ⑧施設修繕 1件 30年度計画(30年度に計画する主な活動) ①モニタリングの実施 ②借地料支払業務 ③泉源給湯料支払業務 ④施設改築整備に伴う業務(指定管理者公募に向けての協議・調整、泉源調査) ⑤各種協議等への参加					
	② 活動指標					
	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
ア	施設修繕	件	3	5	1	0
イ	指定管理者協議	回	12	9	20	6
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか) ①市民 ②市外からの入込客	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか) ①②利用できる。	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
		ア	日本の人口	千人	127,094	126,933	126,706	125,236
		イ	人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		ウ	観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0
		ア	施設利用者(入浴券売数)	千人	36	37	31	0
		イ	指定管理料(泉源料除く)	千円	26,819	26,684	21,747	0
		ウ	客室定員稼働率	%	27.1	29.6	29.0	0.0

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【指定管理料】21,747千円 【光熱水費】20千円 【修繕費】216千円 【通信運搬費】8千円 【委託料】120千円(指定管理料を除く) 【賃借料】1,311千円 【施設使用料】※入湯料 9,804千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円				
	人員費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人員費計(B)	人 時間 千円	1 300 1,174	1 300 1,190	2 720 2,935	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	31,717	30,082	26,357	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?) ・中国横断自動車道尾道松江線開通等の要因により入浴者数は増加傾向にあるが、宿泊者及び宴会利用者は経済情勢や施設老朽化等の影響により減少傾向にある。 ・改築工事のため、H30年1月末をもって閉鎖休館となっている。	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 施設改築計画に伴い、平成30年1月末をもって営業終了、解体工事に着手。 平成31年秋頃オープン予定。	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?) ・利用者から、良質な温泉利用と保養等への期待がある。 ・指定管理者から、同種の民間施設との競合への懸念がある。 ・利用者から、新しい清嵐荘に対しての期待がある。
---	---	--

事務事業名	清嵐荘運営事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	指定管理者による観光事業との連携で、市外、県外からの施設利用者の増加を図ることが可能。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における宿泊施設が少ない中で、観光客、ビジネス客等の施設利用者への影響がある。また本市の観光振興に対するイメージや経済効果が低下する。 ・良質な温泉、会食等に係る地域(地元)利用者への影響が大きい。 ・既に新施設整備が始まっており、廃止はできない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		統廃合は無理だが、吉田町内また雲南市市内の観光施設と連携して集客を図ることは可能。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		旧施設においては、老朽化に伴い施設修繕費、維持費が高み、指定管理料の水準も維持する必要もあることから、事業費の削減は困難であった。ただし、H31年秋にオープン予定である改築後の施設については、0円指定管理の予定であり、当面は大きな修繕も見込まれないことから、削減が可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	施設休業中ではあるが、改築整備に係る新指定管理者との協議等も必要であることから削減は困難である。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		誰でも温泉を利用することはでき、特定の人に限定したものではない。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまでの施設は取り壊され、今後は新たな指定管理者を募り、運営面などでの協議が進むことになる。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																						
		削減	維持	増加																						
成果	向上	●																								
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<p>【施設運営】</p> <p>新施設の運営が開始されれば、当然集客面での期待は高く、市内への波及効果もあわせて期待できる。</p> <p>また、指定管理料が0円となれば、コスト的にもかなり削減され、修繕などにかかる支出も当面は抑えられるものと考えられる。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								